

2023年 10月 29日 《宗教改革記念礼拝》

主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 讃美歌267番「神は我がやぐら」
～フット・プリント～

使徒信条

聖書朗読 ローマ人への手紙1章8～17節

特別映像 “The Way Maker” (イスラエルのため祈る)

メッセージ 「正しい者は信仰によって生きる」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌514番 & ～主はぶどうの木～

頌 栄 賛美「み手の中で」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～あなたはわが力～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日は「宗教改革記念礼拝」。信じるだけで救われる道を開かれた主に感謝！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半
(大和祈祷会ライブ映像)。②夜7時半。 ○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝は誕生祝福式。(司会:白川兄/祈祷:村山姉)。午後は聖書の学び会。

☆11/19(日)「収穫感謝礼拝」(大掃除)。「11月中を子ども祝福月間とします。」

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [10/29-11/5]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	エレミヤ 11-13	14-16	17-20	21-23	24-26	27-29	30-31	32-34
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇

「正しい者は信仰によって生きる」

～神が送られるリバイバル（信仰の刷新）～

“...but the righteous person will live by his faith (or faithfulness).” [NIV]/

“...but those who are righteous will live because they are faithful to God.” [TEV]

「見よ、高慢な者を。彼の心は正しくありえない。しかし、神に従う人は信仰によって生きる。」

ハバクク2章4節 [新共同訳]

本日は「宗教改革記念礼拝」です。マルチン・ルターが1517年10月31日に当時の教会に対して、95ヶ条の意見書を提出し、プロテスタント(抵抗する者)教会発祥に起因した出来事がなされた記念の礼拝です。次は、旺文社の「世界史事典」の内容です。

「マルチン・ルター 1483～1546 ドイツの宗教改革者で、プロテスタンチズムの始祖。北ドイツの鉱山業者の子。初め法律を学んだが、回心してアウグスチヌス修道院に入り、ウィッテンベルク大学神学教授となる。1517年免罪符販売に抗議して『95ヶ条の意見書』の論題を発表し、宗教改革の発端となった。19年ライプチヒ討論でローマ教皇・宗教会議の権威を否定し、さらに20年破門威嚇状を公衆の面前で焼き捨て、21年ウォルムス国会へ召喚されたが、信仰義認説と聖書主義を主張して自説をまげなかった。その後、ザクセン選帝公のワルトブルク城に隠れて『新約聖書』のドイツ語訳を完成した。」

当時の教会は腐敗し切っていた。そして、ルターは聖書を学び、その信仰の問題に対して提起した。それは、権力主義にあぐらをかき、中身が伴わない当時の教会の大きな問題を突いた訳ですが、権力者に抵抗するということはどれだけの覚悟を持って行ったことかと感じます。自分の職業も奪われる可能性も十分にあるし、実際に奪われたであろうと考えられますが、当時の信仰者たちの中にも、教会の問題を感じていた人々がかなりいたこともあり、支持者も与えられて、彼は戦い続けることができました。ルターの勇気に触発されて、スイスでは、ツウィングリが、フランスではカルビンがそれぞれ、宗教改革を行いました。また、当時の教会内部でも、ロヨラやザビエルらが、反宗教改革を行い、教会全体の刷新運動が世界的に行われることとなりました。

これは、大きく考えれば、神様の御手が動き、教会がリバイバルされた瞬間であったと言えます。神様はそれぞれの時代に、問題だらけの私たちの信仰を造り変えて下さるお方です。それは、マイナスではなく、大きな祝福と成長につながるできごとでもあります。

今日の教会も、リバイバルされなければなりません。コロナの問題や戦争の問題も、実は私たちの信仰が本物の信仰になるための神様からのチャレンジでもあると受け止めることができます。また、社会問題だけでなく、私たちのそれぞれの人生の戦いのすべては、神様の祝福、神様の栄光があらわされるための大きな要素であると受け止めたいと思います。「なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を、錬達は希望を生み出すことを知っています。なぜなら、聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」ローマ5章3-5節